

## IV-2 親子でイライラしてませんか

### エピソード

5年生の友也は、最近言葉遣いがひどくなり、母親は度々注意しています。今日も、ランドセルを放り投げて家を出て行き、暗くなってから帰ってきました。

母親が「どこへ行ってたの?」と聞いても、何も答えず2階に上がろうとします。

「宿題したの?やることやってから遊びなさい。何よ、このランドセルの置き方は!」と、立て続けに注意する母親に、友也は「うるさい!」と、どなりました。

その言葉にかっとなった母親は、「何よ、その言い方は!」とどなり返しました。

「ヒステリー!」「こら!」言葉はますます激しくなるばかりでした。



#### Work①

友也、母親役を決めて、ロールプレイをし、それぞれの立場になって考えてみましょう。

#### Work②

なぜ友也はこのような言葉遣いをするのか考えましょう。

#### Work③

穏やかに会話する言葉や態度を見つけ、ロールプレイをしましょう。

① きつい言葉を柔らかく受け止めるには、どうすればよいでしょうか。

② もっと穏やかになる言葉をさがしましょう。

「どこへ行ってたの?」



「宿題したの?やることやってから遊びなさい。何よ、このランドセルの置き方は!」



「何よ、その言い方は!」



## 資料

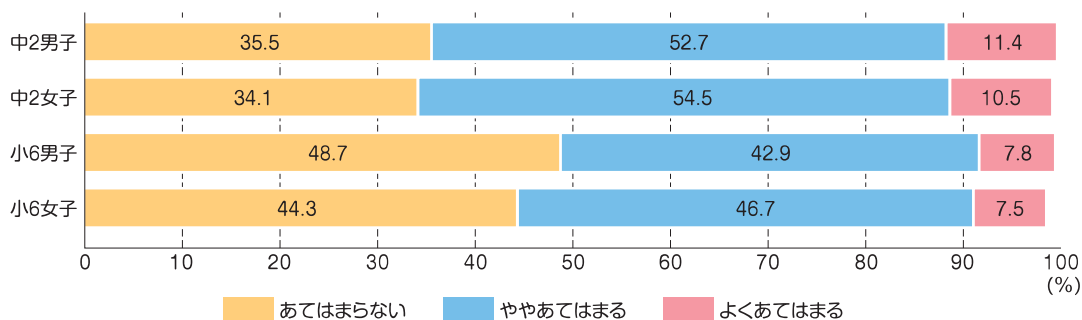
## ◆ 最近子どもを叱ったこと

\* 最近子どもを叱ったこと（H21家庭教育資料：愛知県教育委員会）\*



## ◆ 親の言うことを聞かない小中学生の意識

\* 私は親の言うことを聞かない（文部科学省 家庭教育手帳より）\*



## アドバイス

思春期になると子どもは親には見えない自分の世界を持ち始めます。また、自分ではコントロールできないイライラを抱えることもあります。

このため、第2次反抗期と呼ばれるような子の親にとってはコミュニケーションがとても難しい時期に入ります。

そのような思春期の子ども言葉の変化は社会化の表れであり、成長の過程の一つとも考えられます。

ただ、乱暴な言葉は気が付かないうちに相手を傷付けることもあります。感情的になった子どもの言葉には、一呼吸おいて話し掛けてはどうでしょう。そして、穏やかなときに、言葉遣いについて親子で話し合うことも必要ですね。



## Work④

思春期の子どもに対するコミュニケーションの取り方や態度を考えましょう。